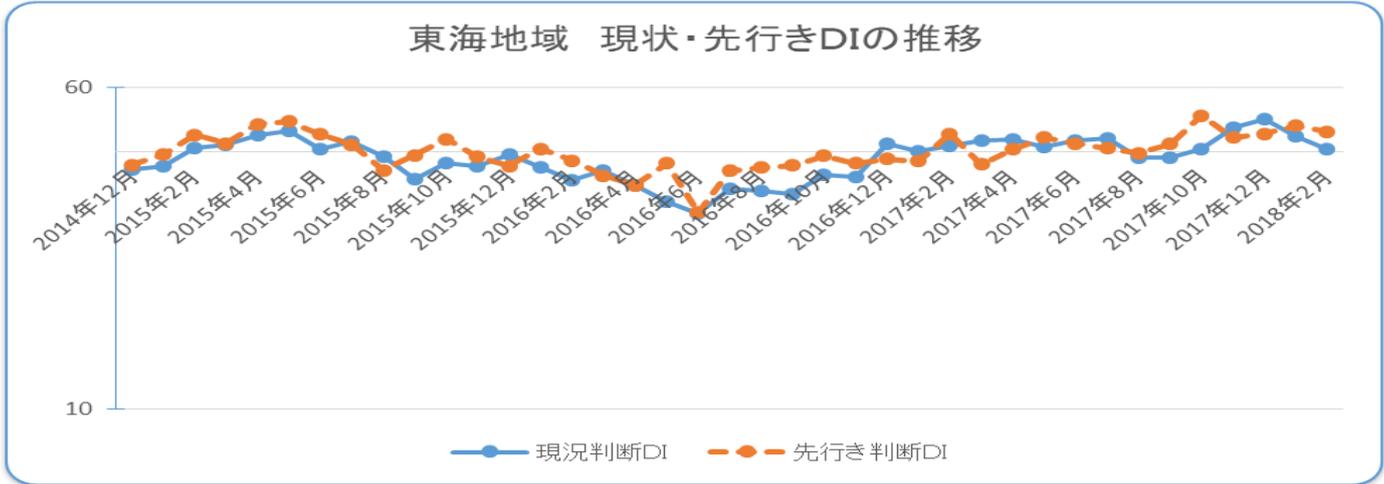


東海地域 現状・先行きDIの推移



◆東海地方 2018年2月 景気判断理由 一部抜粋

	分野	判断	判断の理由、追加説明及び具体的状況の説明、回答者属性
現状	家計 動向 関連	やや良	《お客様の様子》平昌オリンピックの明るい話題に影響されて、し好品に対する支出が伸びている。客単価にも若干の上昇がみられる。【スーパー（営業企画）】
		不変	《販売量の動き》乗客数は、前年同月比でみると他の月よりもマイナスが目立つが、まだ単月の動きである。前年同月比で大きなマイナスが続けば、景気全体の変化の可能性もある。【コンビニ（総務担当）】
		やや悪	《単価の動き》介護保険制度の改正で上限価格が設定されることになったため、既に市場価格は下落している。【その他サービス【介護サービス】（職員）】
	企業 動向 関連	やや良	《受注量や販売量の動き》ケーブルテレビ業界では、4K・8Kテレビ放送に対応するため、特に地方都市の有力事業者で設備強化が進められている。当社でも受注・増産体制を整えているが、部品供給が間に合わず納入遅れも懸念される。【電気機械器具製造業（総務担当）】
		不変	《受注量や販売量の動き》年明け以降、原材料価格の上昇や運賃の負担増加等が影響し、売上は順調でも利益が伴わない状況が続いている。【食品製造業（経営企画担当）】
		やや悪	《受注価格や販売価格の動き》仕入原料のプラスチックの価格が上昇し、利益が減少している。【化学工業（営業）】
	雇用 関連	やや良	《周辺企業の様子》年度替わり前の駆け込み需要がある。新年度に向けて各企業の計画が固まるなかで、経営改善に積極的に取り組む企業も増加している。【人材派遣業（営業担当）】
		不変	《雇用形態の様子》新規求人数は高水準を維持しているが、正社員以外の求人が多く、正社員の割合は9か月連続で低下している。【職業安定所（職員）】
		やや悪	
先行き	分野	判断	先行きに対する判断理由、回答者属性
	家計 動向 関連	やや良	小規模ながら住宅会社関係のリフォーム工事が増加している。新築工事も、需要が増加傾向である。公共工事は、横ばいながらも価格が以前より上昇している。【住関連専門店（営業担当）】
		不変	4月から税率が上がる車種があり、その点を訴求して売上げにつなげたいが、駆け込み需要を見込んで期待はずれに終わることが過去も多かったため、余り期待はできない。【乗用車販売店（従業員）】
		やや悪	今年の秋から福祉用具の貸与価格に上限が設定されるため、売上、利益共に影響が見込まれる。【その他サービス【介護サービス】（職員）】
	企業 動向 関連	やや良	新規製品の受注がこの先2年ほど安定的に見込まれる。原料価格の上昇に伴う製品価格の改定にも客の理解が得られ、4月から新価格での納入となる。【窯業・土石製品製造業（社員）】
		不変	個人投資家の含み益の一部は消費に向かっているが、投資家以外には株高の恩恵はない。給与が増えているという実感がなく消費は拡大しない。【金融業（企画担当）】
		やや悪	様々な業種の客から、給料が下がる予定、あるいは下がったという話をかなり耳にする。景気の良い話は全く聞こえてこない。【食品製造業（営業担当）】
	雇用 関連	やや良	有効求人倍率の推移からも、求人数は増加の一途で求職者数は伸び悩んでいる。人材不足が続いているが、年度末の転職時期には、更に拍車が掛かる。【民間職業紹介機関（窓口担当）】
		不変	求職者が減少し、就職件数も低迷していたが、高齢者や定年退職者には就職意欲の高まりが出ている。【職業安定所（職員）】
やや悪		年度替わりを迎え、転職希望者の動きは一旦落ち着く。【民間職業紹介機関（営業担当）】	